

第 1546 回 (6 月 30 日)

コメの輸入自由化問題

(東京大学教授) 森 島 賢

1. 輸入自由化の 2 つの論点……論点かくし
 - (1) 自由化しても生き残れるか
 - (2) 土地利用型農業が壊滅しても良いか
2. 完全自由化で米は壊滅する
 - (1) 価格競争……内外価格差
 - 1) 実際の輸入価格 (2,440 円)
 - 2) シカゴ相場 ('92. 6. 26)
$$6.80 \times 125.60 \div 45.36 \times 60 \div 0.82$$
$$= 1,378 \text{ 円}$$
$$6.80 : \text{粳 100 ポンド当たり価格}$$
$$\text{US \$}$$
$$125.60 : \text{為替レート}$$
$$45.36 : \text{キログラム換算}$$
$$60 : 60 \text{ kg 当たりへの換算}$$
$$0.82 : \text{歩留まり, 玄米への換算}$$
 - 3) 農水省と米農務省のデータ
 - 4) 国際米価の形成要因
 - (2) 品質競争
 - 1) 自由米市場のクラスター分析
 - 2) 食味計
 - 3) インディカ種
3. 関税化は受け入れられない
 - (1) 完全自由化が政策理念……牛肉の場合
 - (2) 初期関税率の設定……「調整係数」と品質
 - (3) 平均関税率の問題……「特別セーフガード」と価格変動
 - (4) 生産調整と両立しない
 - (5) クモの巣モデル, シェア競争
 - (6) 品質別・用途別需要
4. コメの国際競争力
 - (1) 賃金格差と規模格差
 - (2) 東アジアの先・中進国・地域の土地利用型農産物
5. 自由化の帰結
 - (1) 環境問題

- (2) ポスト・ハーベスト農薬問題
 - (3) 将来の食料問題
 - (4) 土地利用型農業の全滅
 - (5) 農村社会の崩壊
6. 稲作の再生
 - (1) 再生の条件
 - 1) 国内自給壊滅か
 - 2) 後継者の確保, 安楽死か
 - (2) 再生の方法
 - 1) 生産調整の解除……復田可能性
 - 2) 流通の自由化……すでに終わった
 - 3) 備蓄と飼料化……財政負担
- (文責・小林 弘 明)